



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 229
April
2012

トピックス

メンバー国との防災協力推進

▶ ブータン氷河湖決壊洪水 (GLOF) プロジェクト

▶ 兵庫行動枠組 (HFA) 実施推進のためのメンバー国共同事業とピアレビュー

●メンバー国との防災協力推進 ブータン氷河湖決壊洪水 (GLOF) プロジェクト

アジア防災センター (ADRC) ではブータンを氷河湖決壊洪水 (GLOF) 対策のパイロットプロジェクト実施国として選定し活動を行なっています。このプロジェクトの一環で、2012年2月24-25日にブータンのプナカでADRCはNPO法人プラス・アーツの協力を受け、災害管理局 (DDM) と共催で防災ワークショップを実施しました。

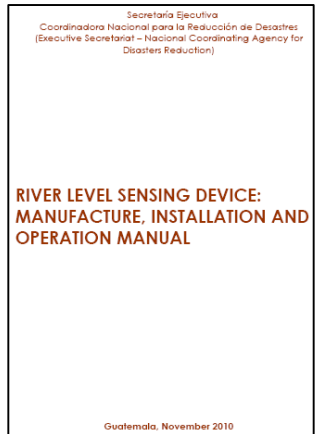
24日はプナカの電気工学高校の学生20名を対象に以下の講義を行いました。

- ・ 東日本大震災について
- ・ 地震発生メカニズムについて
- ・ GLOFのメカニズムと対処方法
- ・ 河川水位計の設置による早期警戒
- ・ 「イザッ!カエルキャラバン」

講義の最後に、簡易水位計の作り方マニュアルと神戸市が作成した防災福祉コミュニティ参加型防災訓練集の「BOKOMIガイドブック」を学校長代理に手渡し、今後このマニュアルを参考にした水位計作成や防災訓練の継続的取り組みを依頼しました。

同日午後「イザッ!カエルキャラバン」のデモンストレーションを行い、翌25日には地元小中学校の校庭でイザッ!カエルキャラバンのワークショップを行いました。前日学習した高校生がファシリテーターとなり、小中学生約250名がワークショップに参加しました。

ブータンの防災担当であるDDMからは、今後このような活動をプナカだけでなく全国で展開していきたいとの要望があげられ、ADRCとプラス・アーツは、一部高価なものを除いてワークショップ実施機材をDDMに渡し、今後積極的に活動を推進していくことと、活動実施時には写真と簡単なレポートをADRCとプラス・アーツに提出してくれるよう依頼しました。今後のブータンの防災力強化に期待しています。



水位計作成マニュアル

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia



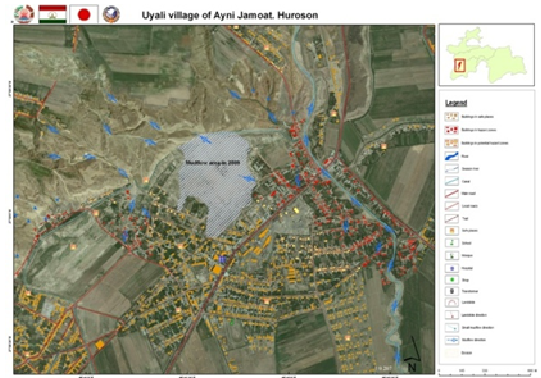
講義を受ける中学生



毛布を使った担架

兵庫行動枠組（HFA）実施推進のためのメンバー国共同事業とピアレビュー

2011年は兵庫行動枠組（HFA）の折り返し年にあたり、さらなる推進支援が求められることを踏まえ、アジア防災センターではメンバー国がHFAの実施を推進し、地域防災力を強化することを目的とし、メンバー各国から共同事業実施の提案を募集し、実施することとしました。応募資料を検討した結果、タジキスタンを対象国として選定し、本年度の事業を実施することとしました。なお、プロジェクトを効果的に実施するために、プロジェクト実施の過程で昨年度と同様のピアレビューを実施することとしました。



プロジェクトの活動で作成されたハザードマップの一例

プロジェクトの実施概要は以下のとおりでした。

- (1) プロジェクトの目的：災害（特に地すべり）リスクアセスメント能力の強化
- (2) 実施期間：2011年12月6日～2012年3月15日
- (3) 実施場所：ハトロソ（Khatlon）州クロソン（Khroson）郡
- (4) プロジェクト活動概要：

1) 関連機関からの情報・データ収集、2) 現地調査（社会調査、地質調査）、3) 衛星データの再加工、4) 収集したデータを用いた土地利用分類、空間分析リスクアセスメント、5) リスクアセスメントに関する知識向上のためのワークショップの実施、6) パイロット地区の洪水・地すべりハザードマップの作成、7) 完成したマップを利用したパイロット地区住民向け啓発ワークショップの実施

また、プロジェクトの主な活動とは別に、プロジェクトの効果的な実施に資するため、2012年2月13～16日にかけて、防災政策ピアレビューを実施しました。ADRC職員1名その他、京都大学防災研究所斜面災害研究センター・地すべりダイナミクス領域の福岡浩准教授、韓国国立防災研究所分析官テフーン・キム氏、スリランカ防災省国立建築研究所・地すべり研究・事業部所長のR.M.S.バンダーラ氏がレビューアとしてタジキスタンを訪問しました。評価チームは、緊急事態委員会をはじめ、地すべり対策に関する研究や事業を行っている研究機関やNGOなどの組織を訪問し、各機関の取組みについて聞き取り調査を行うとともに、2009年春に大規模な災害が発生したKhroson県の被災地の視察を行い、同国の地すべり対策への評価と提言に関する調査結果案をとりまとめました。また、その案とともに、日本、韓国、スリランカにおける地すべり災害軽減の取組みを紹介するワークショップを開催し、現地の関係者と情報共有や協議を行いました。



ピアレビューでの現地調査

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。